

～「自然と文化が調和した理想郷山形」を目指して～

# やまがた創生総合戦略

県は、人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、国と地方が一体となり、中長期的視点に立って地方創生に取り組む必要があるため、政府のまち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」、「総合戦略」を勘案しつつ、今後5年間（平成31年度まで）の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「総合戦略」を策定した。

特に、県民の意見を色濃く反映した、本県の特性を最大限に活かした取組みとして、「挑みの八策」に特に力を注ぐ。

本総合戦略により、県民の皆様と、本県の目指すべき方向、目標を共有しながら、官民挙げて山形発の地方創生に取り組んでいく。

## やまがた創生をけん引する「挑みの八策」

- ・ 6次産業化を推進し「食産業王国やまがた」を実現
- ・ 森のエネルギー、森の恵みを活かし「やまがた森林ノミクス」を推進
- ・ 再生可能エネルギーで経済活性化と持続可能な社会の構築
- ・ 観光立県山形で「しごと」を創出
- ・ 若者・元気シニアの定着・移住プログラムを展開
- ・ “日本一の三世代同居”で子育て支援
- ・ 「やまがたウーマノミクス」を推進
- ・ 文化等を通して地域への愛着・誇りを醸成

地方創生のためには、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻すことが必要であることから、以下の4本を「基本目標」として設定し、取組みを戦略的に推進していく。

### 1) 豊かな山形の資源を活かして雇用を創出

質の高い農林水産物、企業の優れた技術力、豊富な観光資源など、本県の魅力ある特性を最大限に活かし、女性や若者をはじめ県民一人ひとりが能力や個性を發揮できる「しごと」づくりを進める。

- (1) 地域の多様な資源を活用して「しごと」を創出
- (2) 観光立県山形で「しごと」を創出
- (3) 本県の誇る世界最先端の技術等で「しごと」を創出
- (4) 山形の産業をけん引する人材を育成